

一般質問

今回の質問の一つとして、スポーツ振興策について問いました。人材育成という観点より、大事な政策の一つです。指導者養成や水泳指導のために、公共施設を利用する際の経済的援助を強化しよう提言しました。また、心身を鍛え、礼節を重んじ、精神力を育むという観点より、武道の振興策の拠点とすべく、武道館建設の考え方について問いました。このことについては、今年度で閉校となる登別大谷高校の施設の有効活用を視野に入れるべきと提言しました。



山口賢治
スポーツ振興策の強化について



佐藤弘子
震災がれき受け入れについて

国や道の要請を受けて、がれき受け入れの可否を判断するため、市が実施した説明会の状況と意識調査を問い、医学的にも放射性物質の低線量被ばくの明確な安全基準のない中、たとえ微量でも人為的に拡散することへの懸念と、もし受け入れるとすれば、市の検査処理体制と実施管理計画をただし、市内産業への風評被害も含め、広域処理だけではない被災地支援を考へるべきと提言。市民の意見を参考に、西いぶり広域連合との合意形成を図り慎重に協議していくとの答弁であった。



松山哲男
人工芝のグラウンド整備を

入札契約制度については、大差がある予算額と入札予定金額の積算方法や公正・公平面から指定業者が多く参加し適正な価格となる一般競争入札の増加策、指名業者の決め方などをただし、それらや予定金額の事前公表などの入札制度改革を行うとの答弁でした。公共施設と補助・助成金の利活用については、老人憩いの家を、子どもと高齢者の交流を視野に地域コミュニティの拠点としての活用や助成制度を活用した人工芝のグラウンド整備事業の取り組みなどをただししました。



山田新一
職員の給与について

職員の給与は、長年慣例化されていた単純年功序列型の給与体系から、職員の勤務成績などによって、勤務評定が適切に反映できる給与体系へ向け、制度改革をすべきである。全職員を対象として、平成25年度からの実施に向け、職員組合と人事評価制度の取り組みを含めて協議している。



木村俊子
防災・減災の取り組みについて

「想定にとらわれるな」「ベストを尽くせ」「率先避難者たれ」の防災教育で99・8%の子どもの命が守られた「釜石の奇跡」と言われる教育を行うべき。また学校の耐震化の進捗状況さらに老朽化した橋梁・道路・公共施設の状態を把握し改修を行うべきである。防災教育の充実には校長会と連携して行う。市内小中学校の耐震化率は40・8%で近隣市に比較し低い。避難所となる体育館は今年度中に76・9%となる。社会資本の整備については、優先度を見極め整備する。



佐々木久美子
震災がれき広域処理について

仮に震災がれきを受け入れた場合に、基幹産業である観光産業など風評被害への影響について。風評対策について西胆振3市3町で情報共有ができるように対応する。震災がれきの受け入れに係る市民に対する説明のあり方について。がれきに関する意見交換などでは、「もっと多くの市民の意見を聞くべき」との意見もあった。また、意識調査では、一部の市民の理解度が不足していることが判明している。今後さらに市民理解に努める。



米田登美子
震災がれきの受け入れについて

震災がれきの受け入れの考え方と最終的な焼却灰の安全な処理のあり方についてどう考えるか。当市としては今まで諸々支援を実施してきたが、さらに被災地の復興・発展のため広域処理を検討。しかし、風評被害を考慮すると西胆振3市3町で検討していかねばならない。焼却灰については、作業員の安全確保は労働安全衛生法に基づいた対策を強化。飛散防止については、風などの影響を受けやすい厳格な対応を実施するため、専門家の意見を聞き対応する。